

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、
異業種交流活動を通して、
持続可能な地域経済圏をつくり、
夢と希望に満ちあふれた、
元気な地域社会を目指します。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

11月号／2020年11月1日発行

三つの目的

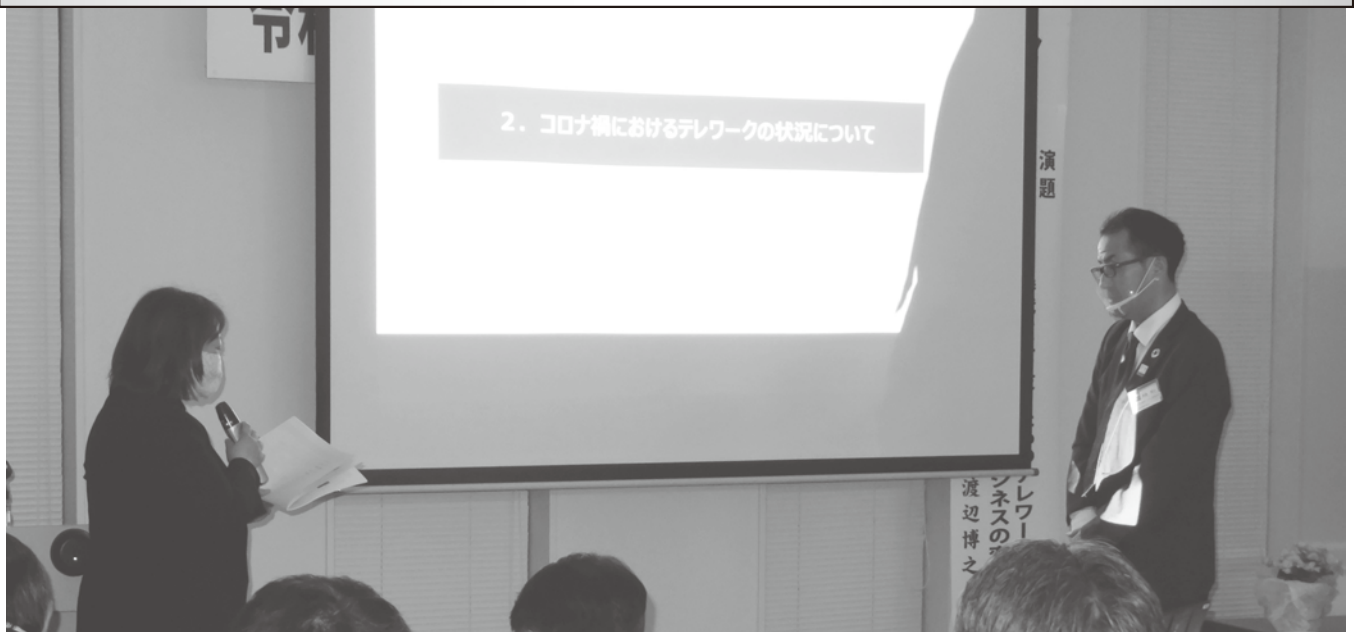
- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

10月19日(月)
18:30～

10月通常例会

会 場
いわき産業創造館 6F

演 題 「withコロナ時代を生き抜くためのテレワークと求められるビジネスの変革」
演 者 NTT株式会社いわき支店 支店長 渡辺 博之 氏



演 題 「with コロナ時代を生き抜くためのテレワークと求められるビジネスの変革」
演 者 東日本電信電話株式会社いわき営業支店 支店長 渡辺 博之 氏

1. テレワークとは (beforeコロナ)

(1) テレワークとは

ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方

(2) テレワーク導入のメリット

- ・テレワークは、社会、企業、就業者の3方向にメリットをもたらす
- ・テレワークによる働き方改革を普及することで、一億総活躍、女性活躍を推進

○テレワークを積極化している企業の6割以上で労働時間が減少。

(働き方の見直しを積極的に行っていない場合、労働時間が減少した企業割合は20%程度にとどまる。)

○労働生産性の伸び率では、テレワーク単体及びテレワークと組み合わせた組み合わせを行った企業で13～18%程度の生産性が向上している。

(3) テレワークの普及状況

- ・テレワークを導入している企業は13.9%、導入予定も含めると18.2%
- ・導入済みの企業でも、利用者数が従業員の5%未満

の企業が51.4%

<政府目標 (KPI)>

平成32年(2020年)には、

- テレワーク導入企業を平成24年度(11.5%)比で3倍
- テレワーク制度等に基づく雇用型テレワーカーの割合を平成28年度(7.7%)比で倍増

(4) テレワークの主な課題

○「対面でないと」、「セキュリティが不安」、「適した仕事がない」、「労務管理が困難」など。

○一方で、先進事例の参照等で解決可能な課題も多く、「意識改革」が重要。

テレワークを導入しない理由の例

技術・文化面での課題

- ①社内コミュニケーションに不安
- ②顧客等外部対応に支障
- ③情報セキュリティが心配

労務・人事面での課題

- ①テレワークに適した仕事がない
- ②適切な労務管理が困難
- ③人事評価が難しく対象者限定

- (5) テレワークの阻害要因と解決の方向性
- テレワークの阻害要因は払拭することが可能
 - テレワークにそぐわない業種・職種は“ビジネス変革”を実施

2. コロナ禍におけるテレワークの状況について

(1) 新型コロナ情勢下における在宅勤務・テレワークの対応状況

○事業規模とテレワーク実施率はほぼ正比例。
テレワーク実施率が最も高い業種は「IT関連企業」、「医療」「福祉関連」「飲食業・飲食関係」「運輸・運送・倉庫業」での実施率は2割未満

(2) 地域別：新型コロナ情勢下における在宅勤務・テレワークの対応状況

テレワークの実施率は関東圏と北海道・東北圏では3倍以上の開きが見られる

	従業員のテレワーク実施率 (%)		会社からのテレワーク推奨・命令率 (%)	
	4月	3月	4月	3月
全 体	27.9	13.2	40.7	22.1
北海道・東北	12.5	9.0	21.3	13.0
関 東	41.0	18.5	55.5	30.8

(3) 職種別：新型コロナ情勢下における在宅勤務・テレワークの対応状況

○職種別のテレワーク実施率はクリエイティブ職やコンサル・IT技術職は50%を越えるが、医療、幼稚園教諭・保育士、接客・サービス業・ドライバーは10%未満と差分が顕著に表れている。

	従業員のテレワーク実施率 (%)	会社からのテレワーク推奨・命令率 (%)
Web クリエイティブ職	64.1	77.7
コンサルタント	61.4	74.2
企画・マーケティング	60.4	75.6
IT 系技術職	53.0	72.6
広報・宣伝・編集	52.1	63.5

警備・清掃・ビル管理	7.9	14.9
【飲食以外】接客・サービス系職種	7.4	9.7
医療系専門職	7.1	6.2
幼稚園教諭・保育士	7.0	10.8
理美容師(スタイリスト・ネイリスト等含)	6.5	14.4
【飲食】接客・サービス系職種	6.2	5.2
建築土木系技術職	5.9	10.5
製造(組立・加工)	4.2	11.4
軽作業(梱包・検品/搬入・搬出等)	3.9	8.3
ドライバー	3.2	5.2
福祉系専門職(介護士・ヘルパー等)	2.2	3.3

(4) テレワーク長期化に伴う組織課題

○管理職と一般社員の双方に対して「テレワークが長期化したら深刻化すると思う課題」を質問したところ、

回答が多い順に「コミュニケーションの取りづらさ」、次いで「社内連携のしづらさ」、「モチベーションの維持・管理」と、上位3位が同じ結果になった。

(5) (参考) テレワークを行っている人の課題

○テレワークを行っている人の「課題」をランキング化すると、1位「運動不足」で73.6%、2位「テレワークできない仕事がある」で60.2%、3位「必要機器がない(プリンター等)」で47.8%

○大別すると、「従業員の健康課題(身体・メンタル)」、「テレワーク環境の改善」、「最適なスペース確保」の3つに分けられる。

3. 緊急事態宣言解除を受けた各企業の取組・投資の変化について

(1) 新型コロナウイルス感染対策を受けIT戦略は“加速”

○政府の緊急事態宣言に伴い、経済活動や企業活動が制約される中で、自社のIT戦略の遂行(デジタル化の進展)への影響については、約7割の企業が「大いに加速すると思う」または「やや加速すると思う」と回答し、企業活動におけるITの重要性があらためて確認された結果。

(2) 実施済みの緊急対策は「テレワーク関連」

○今回の新型コロナウイルス感染対策で、緊急措置として実施したIT施策の上位は、テレワークやリモートアクセスの対応等、社員の働き方とコミュニケーションに関する施策が上位を占めた。

(3) 急遽新規導入/追加投資の対象となったIT製品およびサービス

○新規導入/追加投資ともにトップは、「Web会議/ウェビナー」であった。「グループチャット/社内SNS」「オンラインファイル共有」など、テレワーク実施にあたり変更が大きく求められる業務系ソリューションも、新規導入/追加投資とも上位で選択された。

4. withコロナ時代を生き抜くためのデジタル化ビジネスへの転換

(1) withコロナ時代で生き残るために

営業分野

- ・感染症拡大防止のため、対面での営業活動を抑制・禁止
- ・大規模展示会場等を活用したマーケティング活動は全面的に自粛
- ・非対面の営業/マーケティング(デジタルマーケティング)へのシフト等

製造分野

- ・新たなサプライチェーンの開拓・構築
- ・人の移動制限に左右されない生産体制確立(無人化・自動化)等

商品開発分野

- ・既存事業への影響分析・対処、資金調達、新規事業機会の検討
- ・デジタル化ビジネスへの転換
- ・チャネル/サプライチェーン/人事戦略等の見直し等

製品管理分野

- ・需給バランスが崩れ、在庫が過剰になる商品が各所で発生(例：飲食業休業による食品卸業の在庫過剰等)

人事総務分野

- ・学校休校等によりスタッフの稼働確保が困難(業務縮小)
- ・社員の安全管理(衛生管理)
- ・テレワーク等、働き方改革の急速な進展への対応

10・11月グループ会報告

第1グループ会

■日 時 10月6日(火曜日)
■場 所 建設会館 3F

講師：福島県プロフェッショナル人材戦略拠点
サブマネージャー 永山 幾男 氏
福島県企画調整部地域振興課副主査
藤田 尚将 氏

テーマ 「副業兼業の人材確保」

「パラレル人材共創促進事業」

副業兼業のイメージ、人材シェアのメリット、経営課題などについて説明があった。

人口減少が加速する中、副業兼業の仕組みを最大限に活かし、新しい人材採用を検討実施していくことが必要となってくると感じた。今後の経営に活かしていきたい。

第3グループ会

■日 時 11月2日(月曜日)
■場 所 平競輪場

平競輪場の特別室にて、ナイター競輪を視察し堪能する事が出来ました。

12月忘年例会開催 12月14日(月)

会 場 正月荘 TEL 0246-23-3104
会 費 5,000円 18:00～受付開始

第2グループ会

■日 時 10月29日(木曜日)
■場 所 文化センター 2F会議室

①小野代表より挨拶

②いわき市産業振興部 新任の小松部長様・江尻主査様にお越し頂いた。前任の石曾根部長とバトンタッチとして、今年度から、経産省から来られていわき市の市政を見て頂くに当たり、現在進行形の国の考え方、経済産業省の考え方や、地方行政をどう見るか、赴任されての個人的なお考えなどを話して頂いた。

江尻主査様につきましては、熱い思いと、いわき市役所も変わらないといけなし経済団体等の、民間の方と今後どのように組んで、事業を進めていくかと言った、熱い話を頂いた。

懇親会につきましては、いつもながら熱い論議が行われた。

◆ 誕生月プレゼント

ペコニアが贈られました



誕生日は、写真左から小野代表幹事、佐久間一枝さん(10月2日生)、渡辺博之さん(10月5日生)、山中壮士郎さん(10月23日生)です。

FMいわき「いわき経済同友会だより」

【10月予定放送】

- ・11月2日 新人企業内交代 鞍田 炎 様
- ・11月9日 新人企業内交代 山崎 建見 様
- ・11月16日 新人企業内交代 太田 丈人 様

- ・11月23日 常任幹事 佐藤 光代 様
- ・11月30日 副代表幹事 小松ひと美 様

◇毎週月曜日17時45分からです。(約5分間)

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

いわき経済同友会 ご入会のお勧め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp

発 行 いわき経済同友会 小野賢司代表幹事
編 集 情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長／常葉修一・波多野和茂・松尾幸治
四ツ倉隆裕・山中壮士郎